かけはし

会報94号 発行:特定非営利活動法人全国LD親の会　発行人:井上 育世
事務局:〒 151-0053 東京都渋谷区代々木 2-26-5 バロール代々木 415
TEL/FAX:03-6276-8985 E-MAIL:jimukyoku@jpald.net URL:http://www.jpald.net/

特定非営利活動法人 JPALD 全国LD親の会

第 15 回総会 および 第 21 回公開フォーラムのご案内

第 15 回総会および第 21 回全国 LD 親の会公開フォーラムを下記の日程で行います。総会議案書・議決権行使書等は 5 月上旬に各会へメールにてお送りいたします。

●第 15 回総会(書面表決書 or 委任状)
日 時:2022 年 6 月 12 日(日) 10:00～12:00
会 場:さいたま市宇宙劇場 研修室
アクセス:さいたま市大宮区錦町 682－2
JR 大宮駅西口から徒歩 3 分

●総会時の研修会・青年の交流会・懇親会は中止します
新型コロナウイルスの影響により、総会当日の研修会・青年の交流会・懇親会は中止いたします。(別の日程で開催できるか検討中)

今年度の公開フォーラムは、総会の翌日ではなく、11 月にオンラインで開催します。

●第 21回全国 LD 親の会公開フォーラム
「発達障害のある人の教育から就業への移行
～コロナ禍における変化～(仮)」
日 時:2022 年 11 月 13 日(日) 10:20～16:10
会 場:さいたま市内会場(8 月中旬決定)
参加費:一般 1,500 円 会員 1,000 円
(賛助会員も会員価格で参加できます)
開催形式 :リアルタイム配信＋録画配信
共 催:埼玉親の会 「麦」、
茨城 LD 等発達障害親の会 星の子

発達障害のある人が就労し、職場に定着するには、個に応じたキャリア教育の提供が望まれます。社会参加や就労準備の支援が整っていなければ、就職できても学校と職場の違いに戸惑い、躓いてしまうことが生じます。学校時代から就労までの間に、どのようなスキルが求められ、課題が生じるでしょうか？またコロナ禍において、発達障害者の就労にどのような変化が生じているのでしょうか？全国 LD 親の会調査報告と併せて、関係機関の役割や連携など、参加者と共に考えたいと思います。

プログラム予定

10:20 開演挨拶
10:30 基調講演 田村恭子氏
(独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構埼玉支部 埼玉障害者職業センター 主幹障害者職業カウンセラー)
12:00 昼休憩
12:30 「コロナで生じた就労状況の変化(仮)」調査報告
井上育世
(特定非営利活動法人全国 LD 親の会理事長)
13:00 話題提供 1 朝日雅也氏
(埼玉県立大学社会福祉こども学科教授)
13:30 話題提供 2 河崎誠司氏
(特定非営利活動法人サンライズ〔埼玉県障害雇用総合サポートセンター 企業支援業務部門 精神障害者雇用コーディネーター〕)
14:00 話題提供 3 吉田美恵氏
(就労支援事業所カフェベルガ、
茨城 LD 等発達障害親の会 星の子)
14:30 休憩
14:50 パネルディスカッションと質疑
「コロナ禍における就業移行支援の変化(仮)」
上記話題提供者 3 名
ファシリテーター:井上育世
16:10 終演挨拶 閉会

パネルディスカッション以外は、11 月 9 日(水)～11 月 23 日(祝・水)まで録画配信いたします。パネルディスカッションは、11 月 13 日(日)リアルタイム配信のみです。パネルディスカッションは、当日見逃すと録画で見ることが叶いません。ご注意お願いします。

※フォーラムの詳細および申し込み等は、8 月下旬ころに全国LD親の会のホームページに掲載します。

子育て中の親はもちろん、療育に関わる方、学校の先生など子どもに関わる方へ！！

発達が気になる子の子育てモヤモヤ解消ヒントブック　親の会 30 年の経験から

集団の生活編　発行のご案内

全国 LD 親の会の会員から、子育て中の困りごとや悩みのエピソードや工夫したことを集め、現在子育て中の方が自分らしく子育てしていく上で参考になりそうなことをテーマごとにまとめました。「こうすれば良かった」「もっと他に対応の仕方があった」といった反省点も含め、会員の体験談をたくさん掲載しています。

「集団の生活編」は、子どもが1日の大半を過ごす学校や園での集団での生活が、より充実したものになることを願うテーマにしました。

尾木ママ（教育評論家/尾木直樹先生）　推薦

集団生活の具体的場面で、実際に親が困り・揺れながら模索してきた経験談と対処案は、どの子にも共通する成長への確かなヒントですね。

2022 年 1 月発行　A5 判　155 ページ
価格:1,650 円(本体価格 1,500 円＋税)
編著:NPO 法人全国 LD 親の会
監修:安住ゆう子　発行:かもがわ出版

もくじ

第1章　集団での行動
1. 登園・登校をしぶる　2. 集団登校　3. 校庭・体育館・特別教室などへの移動　4. 運動会・遠足などの行事
5. 集会など人が多い場所　6.給食(昼食)の時間　7. 当番などの役割
コラム:子どものすてきなところさがしのコツ
第 2 章　友達とのトラブル
1. 一方的に話す　2. 呼びかけに答えない　3. しつこくちょっかいを出す　4. 人のせいにする　5. 人にぶつかる
6. ルールを守れない　7.暴言・暴力　8.からかわれた時　9.友だちにケガをさせてしまった時
コラム:ソーシャルスキル
第 3 章　自分勝手にみえてしまう行動
1. 授業中、勝手に発言する　2. 授業中のひとり言が多い　3. 授業中に席から離れる　4. 席で落ち着きがない
5. 活動に協力しない　6.こだわり　7.パニック　コラム:行動の修正に必要な力
第 4 章　スケジュールの管理や持ち物
1. 持ち物をなくす　2. 学校への持ち物を忘れる　3. 置き忘れ　4. 物の扱い方　5. 整理整頓　6. 時間を守れない
コラム:子どもがわかりやすい環境を整えるために
第 5 章　放課後の過ごし方
1. 宿題　2. 学習塾・家庭教師　3. 友だちと遊ぶ　4. 学童保育・放課後子ども教室　5. 習いごと
6. 放課後等ディサービス　コラム:放課後の意義
第 6 章　不登校
1.「学校へ行きたくない」といわれた時　2. 親子の葛藤　3. 学校との話しあい　4. 学校以外の居場所
5. 信頼できる人との出会い　6. 親子で一緒に取り組めたこと　コラム:新しい不登校支援

ご購入は・・・

かもがわ出版の HP からご購入できます。
http://www.kamogawa.co.jp/kensaku/syoseki/ha/1169.html
（全国 LD 親の会会員は、各所属会にお問い合わせください）

※　自分の生活をマネジメントしていくうえで基礎となることを集めた「生活の基礎づくり編」も好評発売中です。

ヒントブックの購入はこちらから

一般社団法人 日本LD学会第 30 回大会 報告

日 時:2021年12月10日(金)～12日(日)
オンライン開催 (10日は夜のプレコングレスのみ)
大会テーマ:「LIFE, LOVE, LD －知の創造, 情の共有から育むそれぞれのこれから－」
大会会長:海津亜希子(国立特別支援教育総合研究所)

2021 年度の大会もコロナ禍のため、2 年連続で、オンライン開催となりましたが、過去最多の 4,288 名もの参加申込みがあったそうです。2 日間にわたり、大会企画シンポジウム・自主シンポジウム等 18 講座がライブ配信され、自主シンポジウム 37 講座・ポスター発表 86 件がオンデマンド配信されました。(1 月末までオンデマンド配信)

2021 年度は、日本 LD 学会設立 30 周年にあたり、記念シンポジウム「発達障害のこれからを展望する」では、全国 LD 親の会井上理事長もビデオメッセージで感謝とともに学会のさらなる発展を願ってエールを送りました。LD 学会は設立当初から親の会を大切にして下さる学会で、今回の大会でも大会企画シンポジウムや自主シンポジウム等、親の会が発言させていただく企画が複数ありました。

残念ながら、親の会のポスター展示・懇親会は中止となりました。コロナが収束し、また先生方や仲間と交流できる場が復活することを願っています。

親の会企画シンポジウム

日 時:2021年12月11日(土) 15:20～17:00
テーマ:「LD等の発達障害児・者の家族への支援の多様なアプローチ～本人と家族を支える、包括的な支援のために～」
司 会 : 粟野健一 (NPO法人全国LD親の会)
話題提供 : 井上 祐紀氏 (福島県立矢吹病院)
滝島 真優氏 (成蹊大学)
矢崎 弘美 (NPO法人全国LD親の会)
指定討論 : 日戸 由刈氏 (相模女子大学)

当日のリアル配信は300名を超える方にご視聴いただき、関心の高さがうかがえました。

【開催趣旨】

LD等発達障害児・者への理解や支援は進みつつありますが、子育てを担う保護者や、ともに育つきょうだいへの家族支援は十分ではないのが現状です。多様な悩みを抱える保護者のメンタルや体調の良し悪しと、子育てに対する意欲や達成感とは密接な関係があり、障害のある本人や家族へ及ぼす影響が大きいため、本人および家族への包括的な支援が必要であることから、今後の家族支援の在り方を探るため、本シンポジウムを企画しました。

【話題提供1】「保護者のメンタルヘルス支援」
井上祐紀氏

ご講演の中で、「子どもの能力を高めることにとらわれがちだが、子どもをポジティブに見るスキルやポジティブな相互作用が重要」「支援者は親の健康(精神)状態を考慮せずに、工夫を矢継ぎ早に提案していないか？保護者を頑張らせるのではなく、セルフケアしながら子育てできるように支援してほしい。家族支援なしの発達支援はあり得ない！」とのお話がとても心に響きました。

先生の病院では、受診待機期間から、保護者向けのワークショップを提供しておられ、こうした具体的な家族支援が広がって欲しいと強く思いました。

【話題提供2】「きょうだい支援の必要性と支援の実際」
滝島真優氏

きょうだい当事者・きょうだい支援者のお立場から、支援の必要性ときょうだい会の実践についてお話しいただきました。最近ではヤングケアラーも社会問題となっており、きょうだいが不登校やうつになってしまうケースが多々あります。親も障害のある子にかかりきりになってしまい、きょうだいへの支援が疎かになりがちです。お話から「特別なニーズのある兄弟姉妹がいることで、人間的な成長につながるような支援が必要」「家族支援にきょうだいもぜひ加えてほしい！」との切実な思いが伝わりました。親亡き後も見据え、きょうだいの孤立を防ぐための支援の重要性について考えさせられました。

【話題提供3】「発達障害の子どもを持つ保護者へのピアサポート」 矢崎弘美

親の会の立場から、保護者の心情や保護者の求める支援、ピアサポートで相談を受ける際の課題や気をつけるポイント等についてお話しさせていただきました。「相談機関はたらい回しにせず、丁寧に対応してほしい」とのお話もあり、「専門機関への相談」と「同じ立場の人への相談」を通して、家庭・教育・福祉がうまく連携してほしいと思いました。

【指定討論】

日戸先生より、保護者・きょうだいに対する支援をすすめるために、これまでの支援のあり方を振り返り、「本当にするべき支援は何なのか？」「しなくてよいこと、見直してほしいこと」について問題提起があり、それぞれの立場から議論を深めることができました。保護者・きょうだい・本人それぞれが自分のこと・お互いのことを肯定的に捉えられるよう、今回のシンポジウムを契機として、今後の家族支援がすこしでも前に進めればと思いました。

青年の交流会 「オンラインで横浜に行こう！」開催しました

12 月 11 日 LD 学会の親の会企画シンポジウムを終えて 2 時間後の 19 時から、オンラインで青年の交流会を行いました。参加者は 20 代～40 代の青年 6 名（男性 5 名、女性 1 名）と役員 2 名を加え 8 名でした。今回の交流会は、横浜での LD 学会と同時に開催するということで、横浜の桜木町からのロープウェイの映像や、飛鳥Ⅱ・中華街・元町などの映像を見たり、事前に参加者に送った、横浜のお菓子やポークジャーキー、カシューナッツを食べながら交流しました。

それぞれの近況や趣味、旅行の話などで大盛り上がり！タイムオーバーの指摘をされるまで、あっという間の 2 時間でした。参加者の方々からも「こんなにしゃべったのは初めてかも」という感想をいただくほど楽しい時間でした。

「人との関わりが苦手」という方もみえましたが、そう感じないほど、みんな博学で話題がどんどん広がりました。次々変わる話題にちゃんと共感し、質問したり、うんちくを披露したり…話を聴きながら、とても感激しました。

＜ 参加された青年の感想 ＞

・参加できて良かった。また横浜に行きたい。
・いろいろなことが知れて良かった。
・幅広い話題で、聞いていて微笑ましく和んだ。
・まさか 2 時間話すとは思わなかった。初めて参加して、趣味や日常のことをいろいろ話せて良かった。
・（人付き合いが苦手で）職場でも話すことがないが、今日はコミュニケーションできて、気持ちが前向きになった。

オンライン交流会を開催しました

● 1 月 15 日 テーマ 「予算要望について」

1 月 15 日（土）19:00～ オンライン（Zoom）にて交流会を開催し、全国各会から 47 名の方にご参加いただきました。前半は、井上理事長より文部科学省・厚生労働省の施策について解説、各県の状況や各会の要望活動について情報交換しました。後半は、グループに分かれて、要望事項への意見や教育・就労・障害者年金のことなど様々な話題について話し合いました。

各会の状況をうかがうと、長年にわたり毎年、要望書を提出し、行政との意見交換や懇談の場を設けている会や、特別支援教育連携協議会や発達障害者支援センター連絡会等の公的な会議に参加している会が多くありました。

また、地域によって行政の取り組みが違うことも話題になりました。これまで様々な支援制度が整備されて来ましたが、地域格差も課題になっています。参加者からも「国が予算を組んでも、地方自治体でその通りに予算が使われているのか？」「他の県の状況を知りたい」「全国の状況を知ることが重要だと改めて思った」との感想がありました。各会へ予算関連の資料もお送りしていますので、各会での要望活動等にも活用していただけましたら幸いです。

今回の交流会は、参加された皆さんの「地域を良くしていこう」という熱い思いに溢れていて、改めて親の会としていろいろ取り組んでいかなければ！と力をいただきました。会員皆様のご意見を文部科学省・厚生労働省への要望書に反映させていきます。

● 3 月 12 日 テーマ 「コロナ禍の活動について」

3 月 12 日（土）19:00～ オンライン（Zoom）にて開催し、42 名の参加がありました。多くの会が、コロナ禍で活動休止になったり、対面の活動ができない等、どう活動して行けば良いのか苦慮しています。また、会員の減少や役員の高齢化等、運営上の共通課題もあるため、活動の現状や活動を継続していくための工夫等について情報交換をしました。

会員を増やす工夫として、「全国 LD 親の会が刊行したヒントブックの書評を地元の新聞に掲載してもらい、問い合わせ先として各会のアドレスを載せてもらってはどうか」とのユニークな提案もありました。「役員のなり手がない」という悩みに対しても「負担が集中しないように、会員が一人一役担うように分担したら、仲間意識が深まってプラス効果があった」という会もありました。多くの会がオンラインを活用して活動していますが、やはり「直接会って話がしたい」という希望も多いようです。「今は、親の会が生き残ることが大事！SNS でもいいから連絡を取り合って、繋がること。困った時に相談できる場があることが重要」との意見に、親の会の意義・親の会の良さをアピールできるよう、皆で考えていきたいと改めて感じました。

全国 LD 親の会では、これからもオンラインを活用した交流会・研修会を定期的に企画し、交流の場を増やし、各会の活動をサポートしていきたいと考えています。

2022 年度 特別支援教育支援員養成ビデオ講座　5月申し込み受付開始！！

2022年度特別支援教育支援員養成講座は、昨年度と同じように学習支援員コースをビデオ配信する形式で開催します。本講座は、日本LD学会の特別支援教育士資格認定協会のご協力を得て、特別支援教育士SVの有資格の先生方に講師をお願いしており、内容的に高い評価をいただいています。

昨年度のビデオ講座は、ご自宅等で期間中何度も講義を聞いていただけるため、大変好評でした。今年度は定員を増やしましたので、多くの方にご受講いただければと思います。

◆コース:

学習支援員コース[講習:18 科目/24 時間 35 分)]

◆受講費:

一般 21,000 円(テキスト代 1,000 円含む)

会員 17,000 円(テキスト代 1,000 円含む)

（賛助会員も会員価格で受講できます）

◆受講者:100 名(補講含む)

◆全講習を受講した方に、ビデオ講座修了証をお渡しします。

◆プログラム

2022年8月17日(水)～8月29日(月)配信

1、特別支援教育概論　95 分

竹田契一先生(大阪教育大学名誉教授、大阪医科薬科大学 LD センター顧問)

2、学校・学級での支援の仕方　60 分

担任との連携の仕方 30 分

小田浩伸先生(大阪大谷大学教育学部教授・特別支援教育実践研究センター長)

2022年8月31日(水)～9月12日(月)配信

3、主な障害の特性と理解(知的、身体、視、聴覚) 90 分

花熊暁先生(関西国際大学教育学部教育福祉学科教授)

4、主な障害の特性と理解(発達障害)　90 分

花熊暁先生(同上)

5、子どもへの対応の基本　90 分

笘廣みさき先生(一般社団法人発達支援ルームまなび理事)

2022年9月14日(水)～9月26日(月)配信

6、社会性・コミュニケーションの困難とサポート方法 90 分

伊丹昌一先生(梅花女子大学心理こども学部心理学科教授)

7、行動面の困難とサポート方法　90 分

伊丹昌一先生(同上)

8、介護・介助の基礎、移動介助　90 分

小田浩伸先生(同上)

2022年9月28日(水)～10月10日(月)配信

9、自立生活面の困難とサポート方法　60 分

松久眞実先生(桃山学院教育大学教育学部教授)

10、学校生活面の困難とサポート方法　60 分

松久眞実先生(同上)

11、ペアレント・トレーニングの視点(1)　60 分

米田和子先生(NPO 法人ラヴィータ研究所理事長)

12、ペアレント・トレーニングの視点(2)　60 分

米田和子先生(同上)

2022年10月12日(水)～10月24日(月)配信

13、特別支援教育コーディネーターからのレクチャー90 分

今村佐智子先生

(一般社団法人発達支援ルームまなび理事)

14、支援員として活動して　60 分

支援員 3 名・今村先生(同上)

15、読み書きの困難とサポート方法　80 分

村井敏宏先生(青丹学園発達・教育支援センターフラーテル L.C.所長)

16、言葉(聞く、話す)の困難とサポート方法　40 分

村井敏宏先生(同上)

2022 年 10 月 26 日(水)～11 月 7 日(月)配信

17、算数の困難とサポート方法　120 分

栗本奈緒子先生

(大阪医科薬科大学 LD センター言語聴覚士)

18、教材・教具の利用方法　120 分

山田充先生(広島県廿日市市教育委員会特別支援教育アドバイザー)

◆対象者

・特別支援教育支援員、介助員等を目指す方

学童保育・放課後等デイサービスなどで発達障害児の支援を行っている方に、必要なカリキュラムを網羅しています。

・全日程を出席できる方

◆受講申込方法

(1)4 月下旬に全国LD親の会のホームページに詳細を掲載します。

(2)募集期間:2022 年 5 月 17 日(火)～7 月 18 日(月)

(3)受講費のお支払い:

クレジットカード決済・銀行振込にて前払い

(4)テキストは、8月10日頃に、受講費の領収書を同封して、受講者に郵送いたします。

JDDnetより　読書バリアフリー法・電子図書館について

2019年6月に「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（読書バリアフリー法）」が成立しました。視覚障害・身体障害・発達障害などの障害のために、本を読むことが難しい人が利用しやすい形式（電子書籍などICTの活用）で本の内容にアクセスできるようにすることを目指しています。読むことに困難を抱えるLD児・者にとっても、パソコンやタブレットを使って、文字の大きさを変えたり、ふりがなをつけたり、音声読み上げ機能を使ったりして、本を読む負担を軽くすることができます。

読書バリアフリー法の「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する基本的な計画」に基づき、図書館等での電子書籍サービスを整備・充実させるため、「図書館におけるアクセシブルな電子書籍サービスに関する検討会」が設置され、検討が進められています。全国LD親の会はJDDnet理事の立場で検討会の委員を務めています。

全4回の会議ですが、現在までに3回行われています。

○第1回(令和3年6月)
- ・本検討会について　・電子書籍サービス利用者の全体像と本検討会で取り扱う範囲
- ・情報行動アンケートについて

○第2回(令和3年9月)
- ・図書館関係者からの意見聴取（学校、公共、大学）
- ・海外事例調査について

○第3回(令和4年1月)
- ・海外事例紹介（公共図書館での視覚障害者向け電子図書館サービス等）
- ・電子図書館サービスベンダーからの意見聴取　・情報行動アンケートの結果の共有

令和3年9月には、当事者を対象に「読書及び情報行動に関するアンケート調査」を実施しました。会員の皆様にご協力いただき、多くの回答をいただきました。ご協力いただき、ありがとうございました。

アンケートでは、情報を得るための手段や読みたい本のジャンル・電子書籍に備えてほしい機能・必要な電子機器等について調査しました。

回収数は以下の通りです。総回収数は739票でした。回答媒体は、多い順に、郵送（紙）371人（50.2%）、ウェブフォーム230人（31.1%）、メール71人（9.6%）、郵送（点字）65人（8.8%）、メール（点字）2人（0.3%）でした。郵送分の総配布数は793部であったため、郵送の回収率は55.0%となります。なお、アンケートの集計結果は、文部科学省の検討会を経て、6月頃に通商産業省のホームページに掲載予定です。

これからも、読み書きに困難を抱える子ども達が、学校や図書館でパソコンやタブレットを使って、読書を楽しめる環境が整備されるよう取り組んでいきます。

全国特別支援教育推進連盟より

「全国特別支援教育推進連盟」は、教育・福祉・労働・医療等関係機関と連携して、特別支援教育の更なる充実を目指している団体です。全国特別支援学校校長会・特別支援学校PTA連合会・当事者団体等が加盟しています。

1. 第43回全国特別支援教育振興協議会　報告

12月3日　第43回全国特別支援教育振興協議会が「これからの特別支援教育」と題してオンライン開催され、330名の参加がありました。文部科学省・厚生労働省・国立特別支援教育総合研究所から、特別支援教育の状況などについて行政説明がありました。

2. 文部科学省委託事業　「特別支援学校に在籍する児童生徒の居住地とのつながりに関する調査研究」

104教育委員会と特別支援学校77校に調査アンケート実施。研究推進委員の学校訪問による実践事例・保護者アンケートでは21校の事例を作成。現在、報告書を作成中で、連盟のホームページに掲載予定です。

3.書籍の発行

現在，特別支援教育に係る専門家との連携の在り方についての冊子を作成中です。

4. 次年度の全国特別支援教育振興協議会について

令和 4 年 12 月 2 日開催予定。オンライン開催か未定。

東海北陸ブロック研修会　報告

10月24日（日）東海北陸ブロック研修会をオンラインで開催し、34名の方にご参加いただきました。（東海北陸ブロックの会員のほか、九州・近畿・関東など各地の親の会会員の方も参加されました。）

講師に、後藤千絵氏（一般社団法人サステイナブル・サポート代表理事）をお招きし、「障害者の就労イメージをアップデートする試み～働くことが誇りになる場所を作る～」とのテーマでご講演いただきました。

「サステイナブル・サポート」は、岐阜市内で就労移行支援事業所・就労継続支援B型事業所などを運営しています。2021年5月に趣のある古民家（町屋）を改装した一棟貸しの宿「帰蝶」をオープンしました。障害のある人が運営する宿泊施設（B型事業所）は、日本初ではないかと思います。そうした先進的な就労支援の取り組みについてお話しいただきました。

後藤さんの「障害は社会の側を変えることでなくすことができる。障害者支援とは、社会との間の壁をなくすこと」「障害者への支援にとどまらず、多様な生きづらさを抱えたすべての人が働くことにやりがい・生きがいを見出し、前向きに生きていける社会に」とのお話に、自分の障害観や価値観が揺さぶられるほどたいへん感銘を受けました。お話を伺って、親の会として、親として何ができるのか考えさせられました。

＜参加者の感想＞

- 現場で実際に就労支援をされている方のお話は、とても具体的で参考になりました。また、発達障害を持つ人に対して、職業訓練や就労支援だけではなく、社会課題を根本から解決するというお話がとても印象に残りました。
- 障害をかかえた子どもにとって、就労は大きな課題だと日々感じています。学生から社会に出た途端、支援資源がなくなる…と嘆いているだけでなく、支援が社会に広がるように動いていくのも、親の役目なのだと、講演を聞いて感じました。

（ 帰蝶の外観 ）

生きづらさを感じるすべての人・その家族や共に生きる人・支援している人など多くの皆様へ

＊ NHK から Web アンケート協力のお願い　＊

NHKのEテレ番組「ハートネットTV」が、公共放送の福祉番組としてのあり方を検討するためのアンケート調査（Web フォーム）を実施しています。メディアでの取り上げ方などについて、多くの方のご意見をアンケートに反映させていただければと思います。以下の QR コードからご回答ください。

【調査の概要】

対象：障害や病気、セクシュアル・マイノリティ、性暴力被害者や被災経験者など、さまざまな当事者・その家族や共に生きる人・支援者

目的：番組で放送してきた様々なテーマの当事者、支援者、周囲の人たちの声から、番組がどのように見られているか、本当に必要な福祉番組はどのようなものかを調べる。

【番組について】　「ハートネットTV」（月～水・夜8時～　E テレ・全国放送）

障害や病のある人、“生きづらさ”を抱えている人、支える周囲の人たちや家族、さらには社会を変えたいと願う全ての人たちのための総合福祉番組。

調査フォームのアドレス https://forms.office.com/r/0s8FKycT36

ご本人が回答していただける場合は「かんたんな日本語版」
https://forms.office.com/r/W0DNfQKCUn

○「ルビ付き版」が必要な場合は、こちらにメールをお送りください。
NHK 福祉アンケート 2022　　s02714-fukushityousa2022@nhk.or.jp

◆寄付のお願い「全国ＬＤ親の会をご支援ください」

NPO 法人全国LD親の会は、LD など発達障害の理解啓発や研究事業、本人・家族への支援事業に取り組んでいます。活動をより充実させるため、ご支援のほどお願いいたします。

振込先 ： 郵便振替口座:00120-3-52748　特定非営利活動法人全国LD親の会
通信欄に「寄付」とご記入下さい。

◆ 入会案内　会員募集！機関紙かけはし・メールにて情報提供・ブロック活動へ参加できます。

正会員団体	各地で活動している LD 等の親の会で、全国 LD 親の会の活動目的に賛同する団体
準会員団体	LD等の親の会で、将来、正会員団体としての入会を目指す団体
個人準会員	全国ＬＤ親の会の正会員団体がない県に居住する、発達障害の子どもの保護者の方
賛助会員	全国LD親の会の活動をサポートしていただける個人ないし団体

賛助会員も、講座やフォーラムに会員価格で参加できます。
（賛助会員の年会費は、個人 3,000 円・団体 5,000 円です）

詳細については、HPの[親の会について]→ [入会案内]をご覧ください。
全国LD親の会HP：https://jpald.net/
※右のQRコードを読み取って頂くと、入会案内のページがご覧いただけます。
詳しくは HP をご覧ください（QR コードからアクセスできます）

「全国LD親の会」の入会については こちらをご覧ください

●ＮＰＯ法人全国ＬＤ親の会　活動報告

2021 年
8 月 18 日　発達が気になる子の子育てモヤモヤ解消ヒントブック　生活の基礎作り編　発行
8 月 13 日～30 日　特別支援教育支援員ビデオ養成講座①
9 月 01 日～13 日　特別支援教育支援員ビデオ養成講座②
9 月 15 日～27 日　特別支援教育支援員ビデオ養成講座③
9 月 22 日～10 月 29 日　国立国会図書館「読書及び情報行動に関するアンケート調査」協力
9 月 28 日　全国特別支援教育推進連盟第 3 回常任理事会(Web 会議)
9 月 29 日～10 月 11 日　特別支援教育支援員ビデオ養成講座④
10 月 07 日　全国特別支援教育推進連盟第 3 回理事会(Web 会議)
10 月 13～25 日　特別支援教育支援員ビデオ養成講座⑤
10 月 27～11 月 8 日　特別支援教育支援員ビデオ養成講座⑥
12 月 03 日　全国特別支援教育推進連盟第 43 回全国特別支援教育振興協議会
12 月 11 日　日本 LD 学会第 30 回大会親の会企画シンポジウム
2022 年
1 月 14 日　発達が気になる子の子育てモヤモヤ解消ヒントブック　集団の生活編　発行
1 月 15 日　予算要望についての会員交流会
1 月 27 日　全国特別支援教育推進連盟第 4 回常任理事会(Web 会議)
2 月 06 日　第 33 回評議員会・第 48 回理事会
2 月 08 日　全国特別支援教育推進連盟第 4 回理事会(Web 会議)
2 月 22 日　発達障害に関するネットワーク推進会議（資料配布による開催）
3 月 12 日　コロナ禍における親の会活動についての会員交流会

●第 48 回理事会報告

理事会の決議があったとみなされた日時：2022 年 2 月 6 日　16:00 ～ 19:20
開催場所：電磁的記録によるもの
［決議］ 第 33 回評議員会における審議結果を審議し、全員一致でこれを承認した。